

令和2年度 第3回磐田市介護保険運営協議会 会議録

開催日時 : 令和2年11月26日(木) 午後1時30分～2時30分
 場 所 : 本庁舎 大会議室
 出席者 : 委員10名 欠席 6名
 傍聴者 : なし

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 第9次介護保険事業計画・第8期介護保険事業計画について
 - (2) その他
4. 閉会

事務局	<開会>
健康福祉部長	<あいさつ> 第3回運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。 前回の協議会において、第9次介護保険事業計画・第8期介護保険事業計画について、 いろいろなご意見をいただきました。この意見に対する回答、報告をさせていただく。再 び意見があればお願いしたい。 委員の皆様にはそれぞれの立場で忌憚のない意見をいただきたい。
副会長	<会長欠席のため副会長あいさつ> 前は欠席しまして申し訳ありませんでした。議事録を読ませていただき、皆さんから 出された意見を踏まえ精査されたものが用意されていると思います。事務局から説明があ るので、中身の濃いものにしていきたいと思います。
事務局	本日の会議ですが、16名中、10名に出席いただいていますので、会議は成立いたして おりますことをご報告申し上げます。 議事につきましては、会長が議長となりますが、今回会長が欠席ということで副会長に お願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。
副会長	それでは、議事進行にご協力をお願いします。 はじめに議事(1) 第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(案)について です。前回の会議での意見に対する追加、修正等になると思いますが、事務局から説明を お願いします。
事務局	事前に送付しました資料により説明させていただきます。前回ご意見をいただいた点と 再度事務局で見直した点について説明させていただきます。 4ページです。(3) 一つ目の○、「PDCA サイクルに沿った推進」、「に」を追加しました。 そのほかの誤字についても適宜修正しています。 10ページ、(3) 高齢者世帯数の推移の表です。高齢がいる世帯の割合がわかりやすくな

るように修正しました。グラフの修正をしています。

11 ページ、(4) 要支援・要介護認定者の推移について、先日説明しました、認定率・認定者数を下げていくという施策反映に伴う人数、割合の表「施策反映による要支援・要介護認定者の推移」を下段に追加しました。追加した表の推移をもとに 45 ページ以降のサービスごとの施策反映後を推計しています。

13 ページ、(6) 事業対象者の推移に、令和 2 年 10 月 1 日現在の人数を追加しました。新たに事業対象者となる方の数が少なく、新型コロナウイルス感染症予防の意識になどで、密集した場所への参加を控える傾向があったのではないかと推測します。

18 ページです。重点施策「在宅医療と介護の連携」で具体的な内容に入っている「地域リハビリテーション」に関する記載を、一番上の枠の「介護予防の推進・健康づくりの推進」に含めました。三段目の認知症の関係で「認知症予防事業の実施」を追加しました。

20 ページ。ふれあいサロンの件数を、本計画の上位計画の地域福祉計画との整合をとり計画値を変更しています。本日配布したお手元の資料 1 に詳細が載っています。また、ふれあいサロン・いきいき百歳体操の参加者指標を追加しました。集計の都合上、ふれあいサロンは延べ人数、いきいき百歳体操は実人数となっていますが、わかりやすくするためサロンについても実人数の集計を進めています。

22 ページ。二つ目の○、「その他の介護予防に資するサービス」を「その他の介護予防に資する支援」に修正し、本文中に「生活支援」を追加しました。

24 ページです。資料 1 をご確認ください。評価指標について、いきいき百歳体操・まちの保健室・高齢者サロン代表者研修の回数や人数を修正しています。前回の指標には、いきいき百歳体操のみの集計となっていました。介護予防に関する活動として「まちの保健室」「高齢者サロン代表者研修」の回数、参加者も追加しています。

ページが戻りますが、21 ページ (2) 介護予防・健康づくりの推進の項目について、①番が介護予防・生活支援事業、23 ページ②番が一般介護予防事業の順になっていますが、元気なうちからの介護予防を推進していきたいという思いから、①番に自主的な取り組みなどを行う一般介護予防事業、②番にいわゆる総合事業と呼ばれるサービスを利用した介護予防の「介護予防・生活支援事業」という構成に見直したいと思います。記載内容はそのまま考えています。

26 ページです。こちら資料 1 をご確認ください。特定健康診査の指標について、後期高齢者健康診査受診率を追加しました。

33 ページ。二つ目の○、「終活相談支援」を追加しました。今年度から市民相談センターに終活おうえん窓口を設置し相談に対応しています。高齢者の新事業として記載しています。

37 ページ一番下の○、「介護離職防止に向けた取り組み」については、経済観光課と情報共有、検討し記載の見直しをしました。介護者が今の仕事を離れないような取り組みを企業に対して普及啓発するとともに、経済観光課が実施している就職・再就職などの既存の取組みと連携することで、離職防止と雇用、両方について記載内容を充実させています。

39 ページです。市と県で先日実施しました計画策定に関する打合せの中で、認知症施策について「認知症カフェ」などの指標を記載し進捗管理をするように指摘がありました。そのため、41 ページの資料 1 のとおり評価指標に認知症カフェの項目を追加しました。

	<p>42 ページから 44 ページの在宅福祉サービスの内容を具体的に記載する件につきましては、別に市民向けに在宅福祉サービスのチラシを作成しているため、計画の中では現在のままとさせていただきたいと思っております。お手元に今年度版のチラシをお配りしましたので、参考にご確認ください。</p>
副会長	<p>62 ページの空欄のところ財源の構成比を確認しまして、従来と変わりなくそれぞれの負担割合となります。資料 1 の円グラフのとおり追加します。</p>
事務局	<p>事務局の説明がありましたがご意見等ありましたらお願いします。私から 1 点いいでしょうか。指標についてですが計画の数値に対する達成率というのは、記載がないのでしょうか。</p>
委員	<p>計画の中では実績だけを掲載していくこととなります。しかし計画に掲載されている内容について検証していくことは必要で、すべての項目ではありませんが、主なものについて運営協議会の中で報告させてもらっている。計画の内容に沿って報告できるようにしていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>17 ページにある「家族介護を支えるサービスの提供」などについて、ニュースで話題になるヤングケアラー（18 歳未満）がおじいちゃんおばあちゃんの世話をすることが、埼玉県の調査で 25 人に 1 人いる。磐田市の現状は、家族介護の裏側にどんな実態があるのか。どのような支援があるのか。地域住民の支援はどのようなものがあるのか。</p>
包括	<p>昨年度実施したアンケートでは、どのような年代の方が介護者かを把握する項目はありません。市としてもどれぐらいの方がそのような状態なのか把握していません。今後把握をしていくことも考えていく必要がある。孫が介護しているとした場合、親はどのような状況なのか、介護保険サービス等の利用はどうか、実態はどうかかわりにくい。そのような状況で困っているというケースは市には現状では見てきていない。しかし、このようなことも起こりうることに意識し、介護の手が差し伸べられるよう、困った人から相談が入ってくるように取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>包括支援センターでこのような事例があったら教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>高齢者ではない外国人世帯で、夫が病気で働けなくなり、家計を支えるため高校生の子供がアルバイトを考えるという事例や、親子関係がうまくいっていないことから、孫が祖父母の支援している。子育てもあり負担が増しているという事例があった。</p>
委員	<p>56 ページで、介護療養型医療施設の令和 7 年度以降数字が無いが、令和 6 年以降廃止になることによると思うが、どのようなサービスに移行するのか。</p>
事務局	<p>市内の介護療養型医療施設は今年度 4 月に廃止されましたが、磐田市外の介護療養型医療施設にいる方もあり、令和 5 年度まで記載がある。それ以降は、看護小規模多機能型居宅介護などで対応していくこととなります。</p>
委員	<p>全国統一で廃止予定であり、高齢者のみ世帯独居世帯が増加していくため、すべてが看護小規模多機能型居宅介護で対応できるとは限らない。介護医療院も資料上数字は増えているわけではないし、介護医療院で受け入れられない方もいると思う。受け入れ先が見つかりにくいこともあると思うので段階的にチェックして行ってもらいたい。</p>
事務局	<p>外国人高齢者の問題が深刻となると思うが何か対策はあるか。</p> <p>外国人の方については高齢者だけの問題ではないと考えている。災害時には、災害時要援護者として支援が必要となる。広く地域共生社会という視点で考えていく必要がある。</p>

<p>委員</p>	<p>実際の相談等では福祉課に外国人通訳を配置しているが、サービス利用の際にも必要になることも考えられるので対応を考える必要がある。現時点では計画の中に外国人の支援についての記載はありません。上位計画となる地域福祉計画の中では外国人に関して記載があったかと思しますので、その内容を意識して取り組んでいきたいと思う。</p> <p>まだまだ 50 代 60 代で、問題が切迫しているわけではないが、習慣も違うので準備をしておく必要があると思います。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>意見も無いようですので議事（２）その他について事務局お願いします。</p> <p>本日協議いただいた内容を検討させていただきながら、12 月 4 日から 1 月 4 日までパブリックコメントを実施していきます。そこでいただいた内容を反映して次回 1 月の運営協議会で皆様の意見をいただきたいと思ひます。</p>
<p>副会長 委員</p>	<p>みなさんから何かありますか。</p> <p>高齢者の社会性の喪失が話題となっている。いろいろな取り組みができない、意見は言うけど自分ではやらない、他人に世話をお願いする、人の言うことを聞かないなど……。組織として取り組んでいくことが難しく、家族崩壊地域崩壊となっていく。そんな中老人クラブの運営も難しい。しかし、健康講座などにも取り組んでいるが参加者は少ない。介護予防活動をやっている人が 10% も無い。県では 8% にしたいと言っていた。このような現状でどうしていったら良いか悩ましく思ひます。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>磐田市の在宅医療の状況はどうか。一人の先生がたくさんの方を見ているとか。</p> <p>訪問診療が市内で充分足りているとは言えない状態と聞いています。</p> <p>在宅を専門にやっているところがあり、そこは月に 100 件以上の訪問を行っています。先生が 1 名ということではなく、市内を広範囲に対応してくれている。病院から在宅へ戻る際は、そこへ連絡がいつていると思ひます。私の地域がたまたまかもしれないが、病院からの依頼は何年に 1 回という程度となっている。訪問診療をやっていない先生もいます。足りていないことはないと思ひます。</p>
<p>副会長 事務局 委員 事務局</p>	<p>よろしいでしょうか。以上で議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>議事終了後ですが、初めての出席される委員様より、一言ごあいさつをお願いします。</p> <p><あいさつ> 次回以降もよろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございました。次回は 1 月 14 日（木）の開催を予定しています。今回いただいた意見と、12 月のパブリックコメントを反映して最終確認をさせていただきたいと思ひます。以上をもちまして閉会させていただきます。本日はありがとうございました。</p>